

スクウェア SQUARE しろい

取り組みます！
より住みやすいまちづくり

北総一揆！



★6月定例議会開催★

6月5日～7月1日まで27日間の日程で6月定例議会が開催されました。地震等により被災して申請書が提出できない場合でも税金の減免を可能とする条例改正や桜台小中学校の給食を給食センターに追加するための契約変更、母子手帳交付時に葉酸サプリメントの配布や高齢者を対象としたコロナワクチン接種助成をするためなど2億4,559万8千円を追加する一般会計補正予算などの11議案が上程されすべて可決しました。

また、教育関係団体千葉県連絡会から「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願書」「国における2025年度教育予算拡充に関する請願書」が提出され、議員からは「ガザ地区における人道状況の改善と速やかな停戦を求める決議」が発議されました。

【コロナワクチン接種助成】

新型コロナウイルスが5類に移行しましたが、本年度もワクチン接種の助成が受けられることになりました。

対象者・・・65歳以上の方

60～64歳で基礎疾患がある方

ワクチン代が12,000円前後ですが、国からの補助金が8,300円あります。また、医療機関などへの手数料3,800円を市が負担することにより、**自己負担金は3,500円前後**となります。

※対象者へは9月に申請書を発送する予定です。



【PFOS及びPFOAの調査結果】

発がん性が指摘され、国際条約で製造・輸入が禁止されている有機フッ素化合物PFOSとPFOAが、3月に下総基地周辺水路で暫定指針値の最大36倍の濃度で検出されたことから、市は柏市との市境を流れる金山落沿いの井戸の水質調査を実施しました。調査した71本の井戸から暫定指針値50ng/Lを超過する値は**検出されませんでした**。市は今後も定期的に調査を実施していきます。また、千葉県は白井市を含めた周辺3市と下総基地内の井戸も立ち入り調査をする予定です。

50ng/L超過	0本	
11ng/L～19ng/L	1本	富塚1本（散水用）
1ng/L～10ng/L	8本	富塚6本（飲用4、生活用1散水用1）、中1本（飲用） 名内1本（飲用）
50ng/L以下	62本	西白井4本、富塚17本、名内14本、河原子4本、今井23本
定量下限値未満 （※定量下限値：1ng/L）		

結果の内訳



鈴木梨羅選手パリ五輪出場決定！ （ウエイトリフティング）



（桜台小中学校卒業）

東京五輪で銅メダルを獲得した安藤美希子選手に続いてみんなで応援しましょう！

※競技は8月8日（木）午前2時30分～5時の予定です。

【岩田のりゆきプロフィール】

1954年山口県生まれ
広島音楽高等学校声楽科卒業 昭和音楽短期大学声楽科卒業
中央大学法学部通信教育課程卒業（法学士）
2000年 白井町議会議員初当選 現在6期目
白井市議会副議長、議会運営委員長、産業民生常任委員長
環境経済常任委員長、決算審査特別委員長 等歴任
【現在】 白井市議会議長、認知症介助士、学習療法士、親和会副会長
北千葉道路建設促進既成同盟監事、白井助け合いネット副会長
清水口小学校地区地区社会福祉協議会推進委員 など
・座右の銘「人生有限 価値無限」

市政に対するご意見・ご要望等ありましたらご一報下さい。



白井市議会議員 岩田のりゆき
〒270-1433 白井市けやき台2-7-1-108
TEL/FAX 047-492-1075 直通 090-9138-6183
E-mail: nryk9513@outlook.jp
<http://iwanori.net>



北総鉄道値下げ後も増益！

一昨年10月から大幅値下げを断行した北総鉄道(株)の通年として初めての決算が公表されました。新型コロナウイルス感染症の影響からの回復と運賃値下げの効果により、輸送人員は前期比9.4%増の3,862万5千人、営業収益は運賃値下げや線路使用料の変更もあり前期比4.5%減の133億1千万円となりました。一方営業費は、千葉NT鉄道との線路使用料の見直しや動力費の減少などにより、前期比7.4%減の102億8千万円となりました。以上の結果、法人税等を控除した後の当期純利益は前期比6.5%増益の18億7千万円と**24年連続黒字**となりました。

また、一時約450億円もあった「**累積赤字**」は前年度に解消済みで、今期は、**利益剰余金**として**21億6千万円**を計上しています。

【北総鉄道の旧鉄建公団への償還状況】

譲渡価格	1,298億円
元金	932億円
利子	765億円
償還額累計	1,667億円
令和5年度末残高	366億円

(※この債務が解消されるのは令和17年の予定)

【北総鉄道持永社長の発言要旨】

前社長の重い決断だったが、2年前の定期運賃値下げは正しかった。これまで北総線を回避してきた沿線住民の利用が増えている。今後とも沿線自治体と連携しながら、沿線価値の向上、利用しやすい鉄道、さらに住みやすい地域づくりを目指して取り組んでいく。



区分	平成9年度	平成11年度	平成13年度	平成17年度	平成21年度	平成27年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
営業収益	100.1億円	115.9億円	125.5億円	130.6億円	148.3億円	164.8億円	117.5億円	134.5億円	141.2億円	139.4億円	133.1億円
営業費用	74.4億円	74.8億円	79.7億円	88.2億円	99.3億円	115.1億円	135.9億円	112.4億円	111.9億円	111.0億円	102.8億円
支払利息	60.5億円	55.5億円	28.4億円	20.6億円	14.9億円	8.0億円	4.8億円	4.5億円	4.2億円	3.9億円	4.1億円
法人税等				9.0億円	12.9億円	14.1億円	11.4億円	5.4億円	8.1億円	7.7億円	8.3億円
当期損益	▲33.1億円	▲12.7億円	22.5億円	11.1億円	16.7億円	27.6億円	26.2億円	12.6億円	17.7億円	17.6億円	18.7億円

【北総鉄道株主総会での笠井市長の発言要旨】

長年の懸念であった運賃値下げが実施され、特に通学定期の大幅値下げにより、子育て世帯の家計負担が大きく軽減されたことについて、感謝の声を多く聴いている。今後の乗降客数の増加に向けては、沿線地域の活性化によるにぎわいづくりが重要と考える。北総鉄道の成長戦略ビジョンなど様々な取り組みを協働で取り組んでいくことで、将来的にさらなる運賃値下げに向けた好循環に繋がればと考えている。

【最新消滅可能性都市】

『人口戦略会議』が、令和6年地方自治体『持続可能性』分析レポートを発表しました。同レポートによると、2050年までに若年女性人口(20~39歳)が50%以上減少する自治体を「消滅可能性自治体」としており、全国の4割超にあたる744の自治体が「消滅可能性自治体」としています。

白井市はこの中には含まれていませんが、2050年までに若年女性人口が**18.3%減少**するとしていて、自然減対策をしなければ、2050年の人口は55,915人と予想しています。(市の予測は55,400人)

そこで市は、若い世代が安定して働くことができ、希望どおりに結婚・妊娠・出産・子育てできる環境を整え、若い世代の定住を促進することにより、2050年の目標人口を58,600人と展望しています。



なお、千葉県で「消滅可能性自治体」にあたるのは、銚子市、勝浦市、富津市、八街市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町の22の市町としています。



【令和5年の白井市の(1日あたり)状況】

出生 0.76人 結婚 0.33組 転入 8.07人
 死亡 1.83人 離婚 0.23組 転出 7.65人
 交通事故 0.42件 火災発生 0.04件
 救急車出動 9.02件

【岩田のりゆき出前報告会のご案内】

2人以上お集まりいただければ市内どこへでも参上して議会報告を致します。
 また、ご意見・ご相談も承ります。
 090-9138-6183 (岩田)

※議会報告会は日程などの都合により中止とさせていただきます。